

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

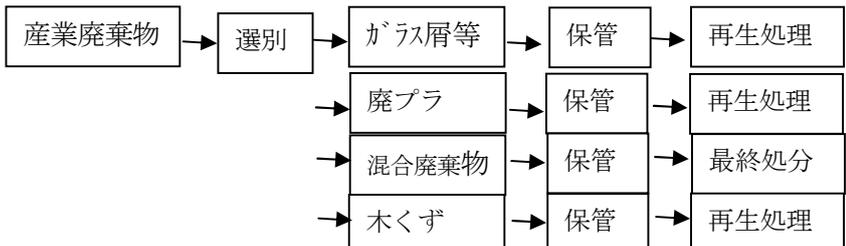
2020年 6月 12日

和歌山県知事 殿

提出者 ジオスター株式会社橋本工場
 住 所 和歌山県橋本市隅田町芋生86
 氏 名 工場長 長塚 一彦
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号 0736-32-1255

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ジオスター株式会社橋本工場
事業場の所在地	和歌山県橋本市隅田町芋生86
計画期間	2020年4月1日～2021年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	前年度の製品出荷額 12億3000万円
③ 従業員数	79人 (ジオスター17人、協力会社62人)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	 <pre> graph LR A[産業廃棄物] --> B[選別] B --> C1[ガラス屑等] B --> C2[廃プラ] B --> C3[混合廃棄物] B --> C4[木くず] C1 --> D1[保管] C2 --> D2[保管] C3 --> D3[保管] C4 --> D4[保管] D1 --> E1[再生処理] D2 --> E2[再生処理] D3 --> E3[最終処分] D4 --> E4[再生処理] </pre>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
<pre> graph TD A[工場長] --> B[品質管理課] A --> C[管理課] A --> D[製造課] C --- E[処理計画作成担当] D --- F[廃棄物の管理] A --- G[← 処理計画統括責任者] </pre>		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（2019年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等
	排出量	994.22 t
	廃プラスチック類	21.45 t
(これまでに実施した取組) ・ 廃棄物の分別の細分化 ・ 廃材木材置場の明確化、分別処理の推進 ・ 生コンクリート混練量の適正化による余剰コンクリートの削減		
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等
	排出量	895 t
	廃プラスチック類	19 t
(今後実施する予定の取組) ・ ガラスくず等：生コンクリートの配合種類を統合し、1割削減する ・ 廃プラスチック類：シート類の再利用により、1割削減する。		
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ガラスくず等：すべて再生利用者へ委託 プラスチック類：軟質プラスチックとその他プラスチック類に分別処理している	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ガラスくず等：現状継続 廃プラスチック類：再利用できるものは再利用し、削減を図る。	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
<pre> graph TD A[工場長] --> B[品質管理課] A --> C[管理課] A --> D[製造課] C --- E[処理計画作成担当] C --- F[廃棄物の管理] A --- G[← 処理計画統括責任者] </pre>		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
③ 現状	【前年度（2019年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物 木くず
	排出量	6.24 t 0 t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物の分別の細分化 ・ 廃材木材置場の明確化、分別処理の推進・教育 	
④ 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物 木くず
	排出量	6 t 2 t
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 管理型混合廃棄物：分別の継続で、現状より増やさない。 ・ 木くず：分別の徹底で有価物化を継続。 	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 管理型混合廃棄物：分別の徹底で再利用業者へ委託することで、混合廃棄物は極力出さない。 木くず：分別徹底で有価物化を行った。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 管理型混合廃棄物：引き続き分別の徹底で、混合廃棄物は極力出さない。 木くず：分別徹底で有価物化を継続。	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2019年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自社で再生利用は行わない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 現状に同じ。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2019年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自社に焼却施設なく熱回収は行わない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 現状に同じ。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
③ 現状	【前年度（2019年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自社に再生利用施設なく行わない。		
④ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 現状に同じ		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2019年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自社に焼却施設はなく、熱回収は行わない。		
② 画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状に同じ		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（2019年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) これまでに自社で埋立処分又は、海洋投入を行ったことはない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き埋立処分又は、海洋投入処分する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2019年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	107.60 t	t
	再生利用業者への処理委託量	886.62 t	21.45 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・許可証の定期的な確認、優良処理業者の情報収集、現地確認調査により、適切な処理を行う。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
③ 現状	【前年度（2019年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) これまでに自社で埋立処分又は、海洋投入を行ったことはない。		
② 画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き埋立処分又は、海洋投入処分する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2019年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	木くず
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	6.24 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・許可証の定期的な確認、優良処理業者の情報収集、現地確認調査により、適切な処理を行う。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	97 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	798 t	19 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>・許可証の定期的な確認、優良処理業者の情報収集、現地確認調査により、適切な処理を行う。また有価物として引き取り可能なものがないか情報を収集し産廃の削減をする。</p>		
※事務処理欄			

③ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	木くず
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	6 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	2 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>・許可証の定期的な確認、優良処理業者の情報収集、現地確認調査により、適切な処理を行う。また有価物として引き取り可能なものがないか情報を収集し産廃の削減をする。</p>		
※事務処理欄			

